

保護者の皆様

江別市立大麻小学校  
校長 鈴木 直道

令和6年度 全国学力・学習状況調査

本校児童の学力・学習状況の分析及び改善策について

初冬の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、8月30日配付の学校だよりで今年度の全国学力・学習状況調査の結果の概要についてお知らせしておりましたが、さらに詳しい状況分析及び改善策についてお知らせをいたします。

本校では、結果の分析から得られた課題の改善に努め、子どもたちに確かな学力を身に付けさせていきたいと考えておりますので、引き続きご家庭のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

1. 平均正答率からの分析

(1) 本校児童の教科別理解度（全国平均正答率との比較）

教科	国語	算数
結果	やや上回っている	やや上回っている

(2) 本校児童の領域別理解度（全国平均正答率との比較）

2. 各教科の分析及び改善策

国語	分類	学習指導要領の内容				
	区分	知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		
	結果	言葉の特徴や使い方	情報の扱い方	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
	結果	やや下回っている	上回っている	上回っている	上回っている	下回っている

算数	分類	学習指導要領の領域			
	区分	数と計算	図形	変化と関数	データの活用
	結果	やや上回っている	上回っている	やや上回っている	やや上回っている

【国語】

本校の国語の平均正答率は、全国・全道をやや上回る結果となりました。分類の思考力、判断力、表現力のうち「話すこと・聞くこと」「書くこと」は、全国正答率より上回りました。一方、「読むこと」は全国の正答率より下回っており、本校の課題と捉えております。問題形式ごとにみると、解答が記号等を選択する「選択式」に比べ、単語を記入する「短答式」や記述式では低い正答率でありました。設問の内容を理解し切れていないということや、文字数などの条件を満たして書くことに課題があると捉えております。

<国語：今後の授業・指導の改善点>

- ◆与えられた条件を整理し、解答に必要な条件を理解できるようにします。
- ◆与えられた条件の中で文を書くことができるようにします。
- ◆人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるようにします。
- ◆事実と感想、意見を区別し、文章構成を工夫して表現できるようにします。

**【算数】**

本校の算数の正答率は、全国をやや上回り、全道を上回る結果となりました。領域ごとに見ていくと「図形」が全国を上回った結果となり、「数と計算」「変化と関数」「データの活用」は、やや上回りました。全ての領域で全国以上でしたが、「変化と関係」「データの活用」の領域が他の領域と比べ正答率が低くなっていました。また、中学年で学んだ「図形」の性質について、基本的事項の定着が不十分であることや、学んだことを日常の場面で活用する力に課題があると捉えております。また、設問から得られる情報量が多いため、何を問われているのかを捉え、解くために必要な数値を選択する等に苦慮している児童が多いことがわかりました。

**<算数：今後の授業・指導の改善点>**

- ◆図形領域を中心に、既習事項の定着と活用をできるようにします。
- ◆グラフ・表の読み取りを言語化して説明できるようにします。
- ◆データや情報を整理し、立式できるようにします。
- ◆算数用語や概念を理解し、それを利用できるようにします。

※ 各教科で本校児童にとって特徴的な結果の見られた問題を紹介していますのでご覧ください。

**国語**

!!目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題

**B書くこと**

字数にまとめて書く問題は、自分の感想やその理由を書くことは比較的良くできています。しかし、本文→メモ→自分が取材者ならどう記事を書く・・・というように、段階的に資料の活用が必要になる問題が苦手であることがわかりました。



※上の縦横用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。  
※◆の印から書きましょう。どちらようで行を変えないで、続けて書きましょう。

**C読むこと**

!!登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる問題

**選択肢**

4 【物語】のイ

3 【物語】のウ

2 【物語】のイ

1 【物語】のア

**問題文について話し合いの様子**

原さん：私は、オニグモじいさんがハエの女の子に「①を指示しながら」わしみたいなグモが、生きるために食べているのはなぜかと言ったときに心に残った。...

鳥さん：この言葉はオニグモじいさんがハエの女の子に「②を指示しながら」わしみたいなグモが、生きるために食べているのはなぜかと言ったときに心に残った。...

原さん：オニグモじいさんがハエの女の子に「③を指示しながら」わしみたいなグモが、生きるために食べているのはなぜかと言ったときに心に残った。...

鳥さん：オニグモじいさんがハエの女の子に「④を指示しながら」わしみたいなグモが、生きるために食べているのはなぜかと言ったときに心に残った。...

**長文の問題文（5P）**

※アからエまで、①から④の内容を空は小さい青色になって、それから、みどりっぽくしました。

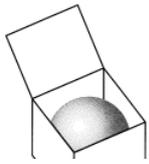
※アからエまで、①から④の内容を空は小さい青色になって、それから、みどりっぽくしました。

5Pに及ぶ長文が提示。(後の問題に関連する部分は線が引かれています。)さらにその内容についての3人の話し合いがあり、その内の一人が考えた根拠なる文を選択する問題に課題が残りました。

# 算数

## 第5学年 B 図形

(3) 直径 22 cm の球の形をしたボールがあります。  
このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。



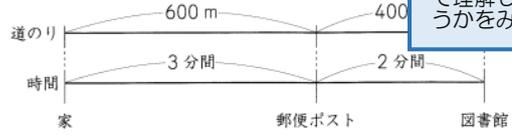
!! 球の直径の長さ<sup>①</sup>と立方体の一辺の長さ<sup>②</sup>の関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる問題

この立方体の形をした紙の箱の体積が何 cm<sup>3</sup>かを求める式を書きましょう。  
ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。

図形領域は昨年度からの課題でした。式に円周率を入れてしまう解答もあり、立方体の体積を求める式を忘れていた解答がありました。式に□を使った立式もあり、復習が必要だと分かりました。

## 第5学年 C 変化と関係

(4) たけるさんは自転車で、家から郵便ポストの前を<sup>①</sup>通って図書館まで行きました。家から図書館まで、5分間かかりました。



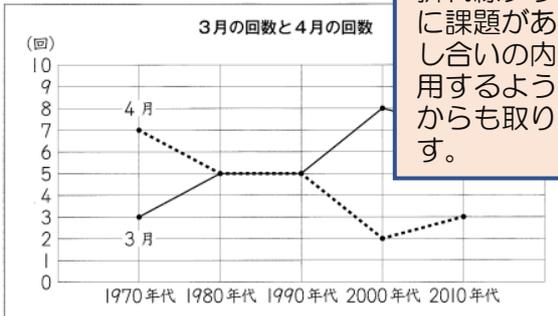
!! 速さの意味について理解しているかどうかをみる問題

家から郵便ポストまでは、道のりは600mで、3分間かかり、速さは分速200mでした。  
郵便ポストから図書館までは、道のりは400mで、2分間かかり、速さは分速200mでした。

速さ、時間、道のりを求める式の相互関係をしっかり復習していくことが分かりました。

## 第4学年 D データの活用

(3) こうたさんは、1970年代から2010年代について、C市の桜の開花日の月を調べました。すると、1970年代以降は、開花日の月が3月と4月のどちらかであることがわかりました。  
そこで、開花日の月について、各年代の3月の回数と4月の回数を、下の<sup>①</sup>ように折れ線グラフに表しました。



折れ線グラフの読み取りに課題がありました。話し合いの内容と資料を活用するような問題にこれからも取り組んでいきます。

!! 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる問題



1970年代は、3月の回数より4月の回数のほうが4回多いですね。

3月の回数と4月の回数が同じ年代がありますね。

3月の回数と4月の回数のちがいが大きい年代がありますね。

左の折れ線グラフで、3月の回数と4月の回数のちがいが最も大きい年代はいつですか。また、その年代について、3月の回数と4月の回数のちがいは何回ですか。  
ちがいが最も大きい年代と、その年代について、3月の回数と4月の回数が何回ちがうかを、言葉と数を使って書きましょう。

## 第5学年 A 数と計算 D データの活用

(4) こうたさんは、3月19日の卒業式の日までに、桜が開花してほしいと思っています。  
桜がいつ開花するか知りたいと思い、桜の開花予想日について調べたところ、下の<sup>①</sup>ような桜の開花予想日の求め方を見つけました。

### 桜の開花予想日の求め方

- 2月1日から、毎日の最高気温の数値をたしていく。
- 毎日の最高気温の数値をたした答えが、初めて600以上になったその日を桜の開花予想日とする。



今日は3月16日です。桜はまだ開花していません。

桜の開花予想日の求め方の①のように計算すると、3月15日までの最高気温の数値をたした答えは549でした。  
3月16日からの最高気温の予報は、下の表のとおりです。

### 3月16日から3月19日までの最高気温の予報

日にち	3月16日	3月17日	3月18日	3月19日
最高気温(度)	21	20	15	14

!! 示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる問題

こうたさんは、3月16日以降は予報どおりの最高気温になるとして、桜の開花予想日の求め方を使って、桜の開花予想日を求めました。  
桜の開花予想日について、次のようにまとめることができます。

最高気温の数値をたしていった答えが、初めて600以上になる式は、 $549 + \text{㊸}$  だから、桜の開花予想日は3月  $\text{㊸}$  日です。

上の㊸に入る式を、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、上の㊸に入る数を書きましょう。

- $549 + 21$
- $549 + 21 + 20$
- $549 + 21 + 20 + 15$
- $549 + 21 + 20 + 15 + 14$

題意にそって段階的にデータを読み取ることに課題が残りました。「足して600以上になるのはいつか」に気づくことが必要でした。

### 3. 児童質問紙の結果から

#### 1 全国平均を上回っている項目で特徴的なもの

項 目
4 学校の授業時間以外に普段1日当たり1時間以上 PC・タブレットなどの ICT 機器を使っている。
21 学校の授業時間以外に普段1日当たり1時間以上勉強している。
22 土日など学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している。
27 5年生までに受けた授業で PC、タブレットなど ICT 機器をほぼ毎日使っている。
28 5年生までの学習の中で PC、タブレットなど使うことで自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。
28 5年生までの学習の中で PC、タブレットなど使うことで自分の意見を分かりやすく伝えることができる。
28 5年生までの学習の中で PC、タブレットなど使うことで友達と協力しながら学習を進めることができる。
31 5年生までに受けた授業では各教科などで学んだことを生かしながら自分の考えをまとめる活動を行ってきた。
37 授業や学校生活では友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。
40 学級活動における学級での話し合いを生かして今自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。
41 道徳の授業では自分の考えを深めたり学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
57 算数の授業で学習したことを今後の学習で活用しようとしている。
58 理科の勉強は好きです。
59 自然の中や日常生活、理科の授業において理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがある。
60 理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てています。

#### 2 全国平均を下回っている項目で特徴的なもの

項 目
5 普段1日当たり1時間以上テレビゲーム(PC、携帯式、スマホ)をする ⇒ <u>※下回ることの方がいい評価です</u>
6 普段1日当たり1時間以上スマホなどで SNS や動画視聴する ⇒ <u>※下回ることの方がいい評価です</u>
14 困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できる
16 学校に行くのは楽しいと思います
18 友達関係に満足している
43 国語の勉強は大切だと思う
46 国語の授業で違う点や似ている点を意識したり図で示したりしながら情報を整理している
51 算数の授業の内容はよく分かる
61 英語の勉強は好き
62 英語の勉強は大切だと思う
63 英語の授業の内容はよくわかる

#### 【質問紙の結果から見える課題と改善策】

- タブレット使用に関する項目はほとんど全国平均を大きく超えています。普段の学習では毎日使う授業構成になっていること・ICTを有効に使用した対話活動を進めている効果だと考えられます。「分かりやすく伝える手段」「自分のペースで進められる学び」「友達との協働活動」などより効果的にタブレットを使用し学習効果を高めていきます。
- 平日も土日でも1時間以上2時間未満の勉強をしているという回答が1番多かった結果でした。タブレットを使った学習も含まれ持ち帰りの効果もあると考えられます。家庭学習時間の定着が見られますが、その時間の中でどのような内容をしていくのが重要です。引き続き家庭学習の啓蒙活動と内容の充実に向けて良いノートの交流など具体的な手立てを講じながら進めていきます。
- 「自分にはよいところがあるか」という質問では、「どちらかといえば」も含めると、多くの子が自分のよさを捉えており、自己肯定感をもっている子が多くいることが分かりました。また「人が困っているときは、進んで助けている」「人の役に立つ人間になりたいと思う」「友達関係に満足している」の質問に対しても、「どちらかといえば」も含めるとほとんどが「当てはまる」と回答しています。周りの人たちに対してよい人間関係が築けている子が多くいることがわかります。一方、「将来の夢や目標を持っているか」という質問には、「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」と回答している児童がいます。自分自身を見つめ将来について考える機会を大切にしていける必要があると考えます。
- 理科の学習に対しては興味があり、科学的思考をもって問題に取り組む児童が多いことが分かりました。半面、国語・算数は学力状況調査では全国平均以上でしたが苦手意識を持っている児童も多いことが分かりました。英語は大切な教科としてはおさえています。英語が苦手意識をもった児童が全国平均より多く、授業の充実を一層図る必要があります。
- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」にはどちらかといえば当てはまるを含めほとんどの児童が回答していますが、「困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人に相談できる」は全国よりも低い回答率となりました。「学校に行くのが楽しい」「友達関係に満足している」なども若干低い回答であることから、学校では、学校生活において児童に寄り添い、些細なSOSを見逃さない支援をこれからもより心がけていきます。

#### 4. 全校的な改善策について

- (1) 日常のテストの結果や学習状況の分析・考察をもとに、算数専科に係る教諭、支援員や学習指導員、学習サポート教員等の配置を工夫し、個に応じた指導の充実を図ります。
- (2) ICT機器の有効活用によるわかりやすい授業づくりなどの改善に役立て、「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善に向けて自己評価を行います。また、「国語・算数の一単位時間の学習の流れ」(言語タイム・復習タイム、課題把握、思考・意図的交流、終末の振り返り、まとめ、定着・習熟時間の設定)の徹底を図ります。
- (3) 九九検定・たしひき検定等の各種検定、百マス計算の実施などにより、基礎・基本の確実な定着と繰り返し学習の徹底を図ります。
- (4) 全国学力・学習状況調査および標準学力調査の過去問題の活用や、チャレンジテストの実施を通して、出題傾向や時間配分を踏まえて問題に取り組む力、最後まで諦めずに解答を記入・選択する力などの育成を図ります。
- (5) 家庭学習の手引きや生活リズムチェックシートを活用し保護者との連携により家庭学習の習慣化に取り組みます。年3回の家庭学習調査を実施し、学年×10分間以上の目標を達成していない児童には、具体的な取組み方法(何を、どうやって、いつするか)をサポートします。また、学習意欲の向上、自己肯定感を高めるためにキャリアパスポートを定期的に活用します。

※ これらの改善策を実効性のあるものとするためにも、生活習慣の見直しや家庭学習の習慣の確立が必要になってきますので、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。